

会員数	38,223	(前月比) + 73
郵送	9,326	(前月比) - 7
手配り	26,876	(前月比) + 74
協同基金到達額	2,479,313,000円(6/30現在) [前月比 2,777,000減]	
協同基金出資者数	18,904名(6/30現在)	
いのちを守る助け合い募金額	0円(6/1~30)	

核兵器廃絶、憲法9条を守れ！

雨の中、声を高らかに！！

2019国民平和進行

87歳で7年連続の通し進行者、映画監督の山口逸郎さんはこの間、三重・和歌山を歩き真つ黒に日焼けしておられ、広島に向かわれます。フィリピン・ミンダナオ島で農業をしながら平和の活動をされている青年も英語で「この国民的な平和進行に参加できて嬉しい」そして日本語で「なくそう核兵器！」と元気にスピーチしました。

その後浜寺公園を出発、みんなで元気よく「ノーモアヒロシマ・ノーモアフクシマ・ノーモアヒバクシャ!!」と核兵器廃絶、憲法9条を守ろう！の声を高らかに歩きました。

7月3日今年も国民平和進行が行なわれました。和泉市役所を9時に出発。泉大津市役所——高石市役所——浜寺公園——堺市役所のコースです。各支部の会員や職員も途中から降ってきた雨にも負けずに頑張つてゴールしました。



泉北ニュータウンを行く平和行進の参加者たち (7月6日)



大連公園での集会でスピーチをする平林邦昭医師



雨にも負けず元気に行進



この日のゴール堺市役所に向かって行進 (7月3日)

つ。総合病院医師で反核医師の会の平林邦昭先生は「ピースアショア」のことは真剣に考えなければいけない。NOを突きつけられるのは、今度の参議院選挙。歴史的な選挙にしましょつと。行進は、アコーディオン演奏に送られ元気にスタート。約1時間、泉ヶ丘駅周辺を「核兵器のない世界をつくる」などアピールしながら歩きました。(事務局)



通し行進者からあいさつ

聴診器

或るスーパーマーケットでのこと。この日はいつもに比べて買い物が少ない。それは明日の特売日に合わせての足踏みでしょう。食料品は家計に占める割合が大きいので、少しでも安く買って生活の質を落とさないように工夫をしていることと思います。▼そんな中この10月からの消費税10%への引き上げに対しては、当然ながら反対の声が多い。昨年12月の「共同通信」今年3月「朝日」の全国世論調査ともに「反対」が「賛成」を上回っています。▼消費税が実施されて今年で30年、いったいどれくらいの金額を支払ったのか？計算してみました。消費税実施は89年4月の3%に始まり、これが8年間続きます。そして、5%が17年間、8%が今年4月までの5年間の計30年。仮に食料品など消費税のかかる支出が毎年100万円とすると、30年間で何と149万円の消費税を支払っていることになりました。▼働く人の4割は非正規雇用、年金生活者の4割は月10万円以下の生活と云われています。消費税は所得の低い層ほど日常生活を苦しくする逆進性があります。消費税NO！(八田兄一)